

しぜんをまもる やさしいところ

ガムッチおうじと どんぐりのき



文・絵 有賀 忍

しぜんをまもる やさしいこころ

ガムッチホウじと どむぐりのき

文・絵 有賀 忍



長野県
信州豊かな環境づくり県民会議



もりの なかの いっけんやで ナッツおばさんが
おえかきようしつを ひらいて います。
きょうも もりの なかまが たくさん あつまって きました。

みんなが なかよく おえかきを して いると、
トントントン……。ドアを たたく おとが しました。
「はーい、どなた？」



ナツリ
おばさんの
おえかききょういっ

あしたのものを
きょうにかなをきょう
のまは
けません。





ちいさな おうじさまが めしつかいを したがえて たって います。
わがままで ゆうめいな ガムツチおうじです。

「ほくも おえかきしょうしつに はいりたいの。」

「どうぞ どうぞ。だいかんげいですよ おうじさま。」

ナツツおばさんが にっこりして こたえました。

ところが ガムツチおうじは、さっそく わがママを いったのです。

「ほく、そとで おえかきするんだい！」

いいでしたら ききません。しかたなく みんなは そとに でした。



そとに だと、ガムッちおうじは また わがママを いいました。
「ぼく、ここじゃ いや。ずうっと ずうっと むこうで
おえかきするんだい！」
みんなは しぶしぶ しががいます。
「まっすぐ すすむから、ぼくの くるまに ついてこい！」
ガムッちおうじは たのしそうに ペダルを こぎだしました。



まっすぐ まっすぐ すずむと、おおきな いわが ありました。
ガムツチおうじは めしつかいに めいれいしました。
「ぼく、まっすぐ すずむの。いわを どけて！」
いいでしたら ききません。
「はいはい。しょうちしました おうじさま。」



めしつかいは ちからを あわせて、おおきな いわを どけました。
ガム^{ガム}ツチ^{ツチ}おうじは じょうきげん。くちぶえを ふきながら
ペダル^{ペダル}を こぎます。

いわを うごかしたあとは、めも あてられません。
くさも はなも つぶされ、むしたちも すみがが なくなって
おおあわてです。





また まっすく まっすく すすむと、おがわが ありました。
ガムツチおうじは めしつかいに めいれいしました。
「ぼく、まっすく すすむの。おがわを うめて！」
いいでしたら ききません。
「はいはい。しょうちしました おうじさま。」



めしつかいは おがわを つちで うめて、みちを つくりました。
ガムッちおうじは にっこにこ。くちぶえを ふきながら ペダルを
こぎます。

ガムッちおうじが わたったあとは、つちが くずれ
きれいだった おがわが にごって しまいました。
さかなや みずとりは だいめいわくです。





また まっすぐ まっすぐ すすむと、おおきな どんぐりの きが
ありました。ガムツチおうじは めしつかいに めいれいしました。

「ぼく、まっすぐ すすむの。きを きって！」

いいでしたら ききません。

「はいはい。しょうちしました おうじさま。」



めしつかいが なたや のこぎりを とりだすと、
チッコおばさんが きの まえに たちはだかりました。
「きっちゃ だめ！いくら おうじさまの めいれいでも、これは だめ！」
「だって、きが あったら まっすぐ すすめないもん。きってよ！」
なんと という わがままな おうじでしょう。
「だめったら だめっ！おうじさま みて ください。」
チッコおばさんは きの うえを ゆびさしました。





とりたちが しんばいそうに みつめて います。
ナッツお婆さんは こえを はりあげて いいました。
「きには とりたちの おうちが あります。それだけでは ありません。
どんぐりの みは もりの みんなの たいせつな たべものなのです。
おうじさま おねがいです。きを きらないでください。」





ガムツチおうじは いいでしたら ききません。

「きれっ。きるんだ！ぼく、まっすぐ すずみたいの。」

めしつかいは おうじの めいれいには さからえません。

ナッツおばさんの てを ひっぱりました。

「どけっ。どくんだ！」「じゃまするな！」

はらはらして みて いた なかまたちも たまらず かけより、
てを つないで きを かこみました。ところが、めしつかいは
みんなを おいやると、まさかりを ふりおろしたのです。

その しゅんかん——









ピカッ ピカ ピカ……いはずまが はしり、
ゴロゴロゴロ……かみなりが とどろきました。
ビューン ビューン！ものすごい かぜが ふきあれ、
ザワザワザワ……きが はげしく ゆれました。そして、
バラバラ バラバラバラ……どんぐりの みが、
ずさまじい いきおいで ふって きたのです。
「いてて！」「ひえー たすけてくれー！」
めしつかいは びっくりして にげて いました。
ガムッちおうじは きを うしなって しまいました。
あっと いう まの できごとでした。

ふしぎな ことに、かぜは すぐに やみました。^{なつっ}お婆さんと
もりの なかまたちは、^{がむっ}ガムツチ^ちおうじに かけよりました。

「だいじょうぶ?」「しっかりして!」

^{なつっ}お婆さんが だきおこすと、おうじは うっすら めを あけました。

「ありがとう たずけて くれて……。ぼくが わるかったよ。

きっと どんぐりの きが おこったんだね。」

「そうね。でも、おうじさまが ぶじで ほんとうに よかった。」

みんなは どんぐりを ひろいあつめて、おえかききょうしつに
もどる ことに しました。







おえかきしょうじつでは ^{ガム}ッ^チおうじを かこんで
えを かいたり こうさくを したり、みんな なかよく あそびました。
しばらくして—— ^チッ^ッおばさんが どんぐりの はいった
かごを もって そとへ でて きました。
「みんなも いらっしやーい。ちょっと いい こと しましょ。」

「どんぐりの きを そだてましょう。しぜんは みんなで
まもらないとね。」

ナッツおばさんは どんぐりを ひとつぶ つちに うめて みせました。

みんなも まねを して あっちこちに うめました。

『おおきく そだって、とりたちの おうちに なりますように。』

『なつには、すずしい こかげを つくって くれますように。』

『あきには、どんぐりのみを いっぱい つけて くれますように。』

いのりを こめて うめました。





それいらい、ガムツチおうじは わがまますを いわなく になりました。
ナツツおばさんの おえかきしょうしつにも せつせと かよつて きます。
もちろん、どんぐりの きに みずを やるのも わすれませぬ。
「はやく おおきく なーれ。どんぐりの もりに なーれ。」



作者からのメッセージ

~~~~~ やさしい心 ~~~~~

ガムッチおうじはとんでもない我がまを言います。でも、他人事と笑ってはいられません。現代社会に生きる人々も多分に自利的であり節度を失っていませんから。人々は快適さや便利さを求める欲望を、我慢することなく突っ走ってきたのです。真の豊かさ、人間の根源的幸せはそんなところにあるはずがありません。自然や環境を壊して、目先はともかく次世代に何を残してあげられるのでしょうか。今、欲望社会から少し離れて創造力を働かせ、緑の星の近未来を考えたいものです。

ぼくは幼少年時代を信州で過ごしました。四方の山々、天竜川・・・素晴らしい自然環境、素朴な暮らしが感性を育ててくれたと思っています。美しい故郷の記憶はきのうのこのように鮮明で、絵本制作中も心はずっかり信州に還郷していました。

ガムッチおうじが「木を切れ」と命令した、その我がままも人間の姿なら、「切らないで」と手をつないで木を囲んだのも、人間の心です。ぼくは「もっとやさしさを、もっと思いやりを」・・・祈る気持ちで絵本を描きました。

啓発用環境絵本 しぜんをまもる やさしいこころ

ガムッチおうじと どんぐりのき

文・絵 / 有賀 忍

発行 / 長野県・信州豊かな環境づくり県民会議

〒380-8570 長野市南長野幅下692-2

長野県生活環境部環境自然保護課

電話 026-232-0111 (代表) 026-235-7178 (直通)

URL <http://www.pref.nagano.jp>

E-mail kankyuu@pref.nagano.jp

平成14年3月28日発行



長野県
信州豊かな環境づくり県民会議